



第64回国民体育大会バスケットボール競技会



開催場所：新潟市東総合スポーツセンター
 試合区分：少年男子 準々決勝
 開催期日：2009年10月3日(土)
 開始時間：10:00

GAME No. 1003F1

主審：大野 健男
 副審：飯塚 勝

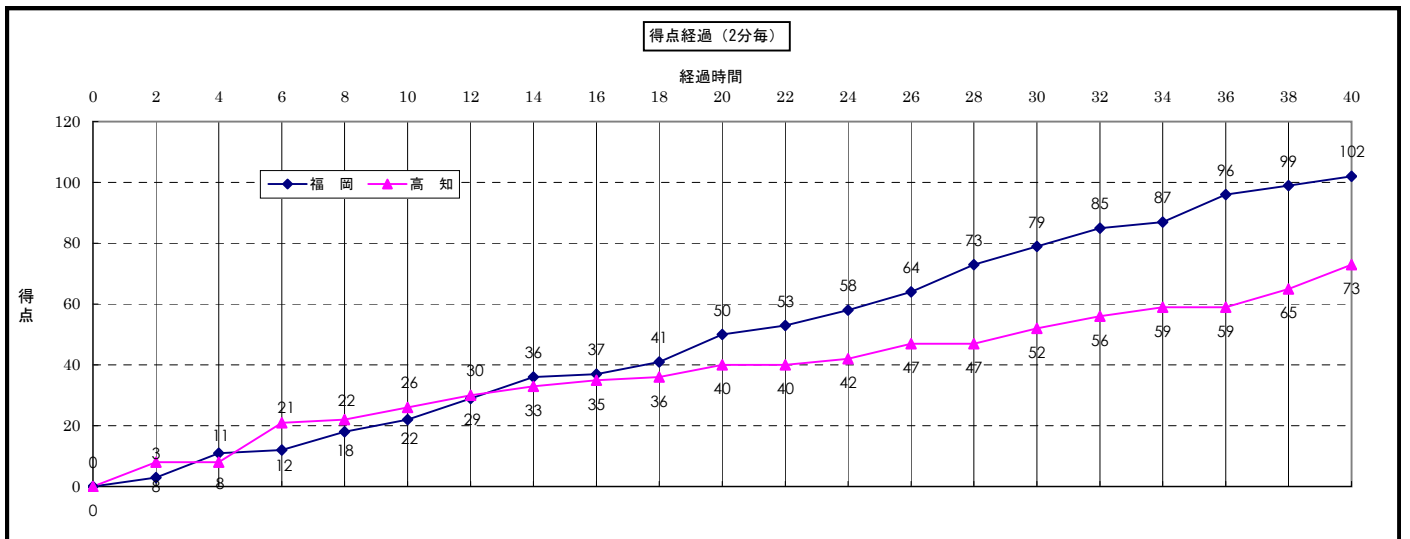
Team A	○	22 -1st- 26 28 -2nd- 14 29 -3rd- 12 23 -4th- 21	●	Team B
福岡	102		73	高知

TEAM A		福岡					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		山崎 翔	5	0	2	1	1
5	*	本間 遼太郎	17	4	1	3	2
6	*	和田 直樹	7	0	2	3	3
7	*	園 幸樹	2	0	1	0	1
8	*	玉井 勇氣	16	2	5	0	0
9		豊嶋 龍生	4	0	1	2	4
10		田中 光	9	1	2	2	0
11	*	二宮 弘憲	7	0	3	1	1
12		矢嶋 瞭	-	-	-	-	-
13		永野 俊輔	21	0	8	5	1
14		児玉 貴通	11	0	5	1	0
15		佐藤 航	3	1	0	0	0
Coach		井手口 孝					
TOTAL			102	8	30	18	13

TEAM B		高知					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		小松 史明	0	0	0	0	1
5	*	松岡 治宏	19	0	9	1	4
6	*	中野 高紳	17	2	5	1	5
7		長崎 海斗	2	0	1	0	3
8	*	谷内 陽	10	0	5	0	4
9	*	正 健弥	5	0	2	1	3
10		稲山 欽也	5	1	1	0	1
11		吉福 真利	0	0	0	0	3
12		藤谷 善彰	0	0	0	0	0
13		佐竹 尚輝	0	0	0	0	0
14	*	ジョアン・エリザ・シンバ・フィーリョ	4	0	2	0	5
15		小川 凌	11	0	5	1	2
Coach		中島 久和					
TOTAL			73	3	30	4	31

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	11:38	19:50	37:46	-		

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	16:27	-	21:44	36:40		



ゲームレポート

* 得点は、(Aチームの得点) - (Bチームの得点) で表記しています。

1Q、両チーム共にマンツーマンディフェンス。高知は#5松岡のゴール下シュートで先制し、その後も#6中野のレイアップシュートや#8谷内の連続得点で主導権を握る。一方福岡は#8玉井や#5本間の3Pシュートで応戦し、開始2分ですぐに同点に追いつく。中盤高知は速攻からリズムを作り一時10点差をつけるが、終盤福岡#13永野のアウトシュートや#8玉井の3Pシュートで徐々に差を詰める。最後は残り1秒で#15佐藤のジャンプシュートが決まり22-26とする。

2Q、開始1分福岡は#8玉井のレイアップや#5本間の3Pで逆転に成功。一方高知は1対1でドライブに持ち込むなど、序盤は一進一退の攻防が続く。中盤福岡は高知の2:3ゾーンを攻めきれない時間が続くが、残り3分相手のターンオーバーから速攻を決め、最後は#15佐藤が3Pを決め50-40の10点差で前半を折り返す。

3Q、両チームはスタートと同じメンバーで開始するが、途中#14ジョアンがファウルアウトし、#8谷内も3つ目のファウルで苦しい展開となる。逆に福岡は#13永野にボールを集め2:3ゾーンを攻略し、#8玉井の速攻などで確実に得点を積み重ねていく。一方高知は相手のゾーンを攻めきれず立て続けに3Pを打つが決まらない。79-52と27点差で終了。

4Q、序盤福岡は#14児玉のドライブや、リバウンドからのシュートで点差を広げていく。一方高知は#14ジョアンがいない苦しい展開が続く。終盤高知は残り3分でメンバーを大きく入れ替え反撃。福岡に対してプレッシャーをかけ、#5松岡がシュートを連続して決めるが102-73で終了。安定した攻守で福岡が準決勝に進出した。

記載責任者 谷川 清一 (所属) 新潟県バスケットボール協会